

2015年11月吉日

救命救急センター長 各位

日本集中治療医学会専門医研修施設長 各位

## 「重症妊産褥婦に関するアンケート」ご協力のお願い (再送)

拝啓

向暑の折、先生方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私共、妊産婦死亡症例検討委員会は、重症妊産婦の予後を改善し死亡例を減らすことを目的に活動しております。2010年より日本産婦人科医会と厚生労働省のご協力をいただき、妊産婦死亡症例全例登録のデータを検討し、死亡例を減少するための提言を発してまいりました。これまでの4年間の活動で、妊産婦死亡に関しましてその臨床像をおおむね把握できたと感じております。

しかし今後より建設的な提言を行うためには、死亡例だけでなく死亡に至らない重症妊婦症例の情報も収集する必要があると考えます。日本におけるそのようなデータはこれまでにほとんど存在せず、特に全国レベルのものはございません。また妊産婦死亡症例検討委員会における議論から、重症妊婦の予後を改善するためには、重症化初期より呼吸・循環を中心とした急性期の全身管理に長けた医療従事者が治療に関わることの重要性も明らかになってまいりました。

そこで今回、救急および集中治療施設に入院となった妊産褥婦を対象とした調査とともに、救急・集中治療分野と産婦人科の連携の実態調査を実施する運びとなりました。救命救急センターおよび日本集中治療医学会専門医研修施設を対象とした、ウェブサイト上のアンケートです。重症妊産褥婦の予後改善のため、貴施設のご協力をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、先生方の今後のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

妊産婦死亡症例検討委員会 三重大学産婦人科 池田 智明

(アンケート内容に関する問い合わせ先)

北里大学病院周産母子成育医療センター産科麻酔部門 加藤 里絵

[jusho.ninpu@gmail.com](mailto:jusho.ninpu@gmail.com)

(アンケート回答システムに関する問い合わせ先)

株式会社メディカルトリビューン

[ml-form@medical-tribune.co.jp](mailto:ml-form@medical-tribune.co.jp)

- 回答方法については別紙をご参照ください。
- 本研究計画は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」にしたがって作成され、2015年7月三重大学医学部倫理委員会で承認されました。
- 本サイトのオンラインの利用に際し、得られたいかなる個人情報についても秘密が厳守されることを保証します。法令で定められた権限により開示を求められる以外に第三者へ提供されることはありません。
- 統計結果を公表する際には、アンケート質問事項のうち個人が特定されない項目を公表します。

# 「重症妊産褥婦に関するアンケート」回答方法

## 【アンケート内容に関するお問い合わせ】

北里大学病院周産母子成育医療センター産科麻酔部門 加藤 里絵  
電話番号：042-778-8606(北里大学麻酔科)  
E-mail：jusho.ninpu@gmail.com

## 【システムに関するお問い合わせ】

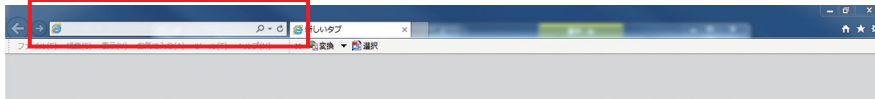
株式会社メディカルトリビューン  
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30  
E-mail：ml-form@medical-tribune.co.jp

## アクセス方法

<https://jusho-ninpu.jp/>

Internet Explorer等のブラウザを起動し、アドレスの枠に【<https://jusho-ninpu.jp/>】をすべて入力し【Enter】を押してください。(通信を暗号化しているためhttps:で始まります。)

【ブラウザのアドレス枠】



## 回答方法

### 回答者の新規登録

初めての方はトップページのメニュー【回答者登録】またはページ下部の【回答者登録】ボタンよりユーザー登録をしてください。ご登録いただいたメールアドレスにID、PWが発行されます。

【トップページ画面】

重症妊産褥婦に関するアンケート

調査対象期間：2014年1月1日～12月31日  
調査期間：2015年7月～12月

お知らせ | 調査の目的 | 回答方法 | 倫理委員会・プライバシーポリシー | **回答者登録** | 施設・連携情報の登録/修正 | 新規症例情報の登録 | 登録済症例情報の修正

お知らせ  
2015年9月9日  
重症妊産褥婦に関するアンケート登録を開始いたしました。ご協力をお願いいたします。

調査の目的  
妊産褥死亡症例検討委員会は、予防可能な妊産褥死亡の減らすことを目的に活動しております。2010年より、日本産婦人科医学会と厚生労働省のご協力のもと、妊産褥死亡症例全登録のデータを検討し、死亡例を減少するための提言を発してまいりました。これまでの4年間の活動で、妊産褥死亡に関してその臨床像はおおむね把握されつつあります。しかし今後、より建設的な提言を行うためには、死亡例だけでなく死亡に至らない重症妊産褥症例の情報も収集する必要があると考えられております。わが国におけるそのようなデータはこれまでにほとんど存在せず、特に全国レベルのものがないのが現状です。また同検討委員会における議論から、重症妊産褥の予後を改善するためには、重症化初期より呼吸・循環を中心とした全身管理に長けた医師が治療に関わることの重要性も明らかになってまいりました。今回、妊産褥死亡症例検討委員会の事業として日本の救急・集中治療室に入院となった妊産褥を対象とした調査とともに、救急・集中治療分野と産婦人科の連携の実態調査を行う事となりました。本調査の結果は救急・集中治療分野と産科の両分野において最終的に妊産褥死亡を減少させるものと期待されます。ぜひご協力のほどお願い申し上げます。

妊産褥死亡症例検討委員会  
三重大学産婦人科 池田智明

回答方法  
[トップページ]-[回答者登録]ボタンより回答者情報登録をお願いいたします。ご登録いただいたメールアドレスにID、PWが発行されます。  
[メニュー]-[施設・連携情報登録/修正]をクリックするとログイン画面が表示されます。発行されたID、PWを入力してログインしてください。  
情報回答画面より各項目についてご回答をお願いします。  
\* は必須項目です

倫理委員会・プライバシーポリシー  
●本研究計画は厚生労働省・文部科学省の「疫学研究に関する倫理指針(平成19年)」にしたがって作成され、2015年5月三重大学医学部倫理委員会が承認後方視的アンケートであること、アンケート調査以外に当該疫学研究は不可能であること、社会的に重要であることから、各施設における倫理委員会への諮問、研究対象者への同意取得は原則的に不要であることが、同倫理委員会承認されています。  
●本サイトのオンラインでの利用に際し、得られたいかなる個人情報についても秘密が厳守されることを保証します。法令で定められた権限により開示を求められる以外に第三者へ提供されることはありません。  
●統計結果を公表する際には、アンケート質問事項のうち、個人が特定されない項目を発表します。

※初めての方は「回答者登録」をお願いいたします。  
**回答者登録**

【回答者登録】ボタン

【回答者登録画面】

トップページ

回答者新規登録

回答者氏名 \*

ログインID (メールアドレス) \*  
(メールアドレス：半角英数)

施設名 \*  該当するものにチェックをしてください  
 救命救急センター  集中治療専門医研修施設

科(部門)名 \*

確認(キャンセル)

登録完了のメール送付

※登録完了メールが届かない場合は、下記までご連絡ください。

[システムに関するお問い合わせ]

株式会社メディカルトリビューン

E-mail：ml-form@medical-tribune.co.jp

裏面へつづく▶▶

## 施設・連携情報の登録

トップページメニュー【施設・連携情報の登録/修正】から、発行されたID, PWでログインし施設・連携情報を登録してください。

【トップページメニュー】

- 施設情報、連携情報、症例数の入力を完了したら、「登録」ボタンをクリックしてください。
- 入院症例がなく、0例の場合は「登録」ボタンをクリックし、アンケート回答を終了し、ログアウトしてください。
- 入院症例が1例以上ある場合は、「登録」ボタンをクリック後、続けてメニュー【新規症例情報の登録】から症例情報についてご回答ください。

## 新規症例情報の登録

入院症例が1例以上ある場合は症例毎ごとに【新規症例情報の登録】より症例情報を登録してください。登録が完了したらログアウトし終了してください。

### 【施設・連携情報の登録画面】

**施設・連携情報登録/修正**

回答者氏名 \* 回答者氏名  
パスワード \* .....  
ログインID (メールアドレス) \* simei@medical-tribune.co.jp  
(メールアドレス: 半角英数)

**1. 貴施設についてお答えください**

1) 施設名 \* Medical Tribune  
該当するものにチェックをしてください  
 救命救急センター  集中治療専門医研修施設

2) 科 (部門) 名 \* Tribune

3) 施設全体の病床数 \* 300 床

4) 救急・集中治療室病床数 \* 300 床

5) 産婦人科がありますか? \*  はい  いいえ 1. 総合周産期センター

**2. 重症妊産褥婦の管理に関して、貴科 (部門) と産婦人科との連携についてお答えください**

1) 院外より重症妊産褥婦を受け入れる場合、協力して初療を開始するなどの連携体制は確立されていますか? \*

1. 体制が確立されており、実際に協力しながら初療を行うケースを経験している  
 2. 体制はあるが、その体制を必要とするような症例がこれまでにはない  
 3. 連携体制はなく産婦人科が独立して受け入れをしている  
 4. その他

2) 産科病棟や分娩室で母体が急変した場合の協力体制は確立されていますか? \*

1. 患者急変時には貴科 (部門) スタッフを含めたスタッフがコールされ、産婦人科医と共に母体の処置にあたる  
 2. 協力体制は確立されていない  
 3. その他

3) 死産帝王切開術を含め、母体心停止時の心肺蘇生に関して施設内で話し合ったことはありますか? \*

1. 話し合いを行い、蘇生手順を確認し、シミュレーションを行った  
 2. 話し合いを行い、蘇生手順を確認した  
 3. 話し合いを行ったことはない  
 4. その他

4) 救急・集中治療室に入院した妊産褥婦症例の診療に関して、産婦人科医との連携はとれていますか? \*

1. 良好に連携がとれている  
 2. あまりよく連携できていない  
 3. 妊産褥婦症例の入院症例がほとんどなく、わからない  
 4. その他

**3. 2014年1月1日～12月31日に救急・集中治療室に入院した妊産褥婦 (妊娠中～産後42日) は何例でしたか? ※半角数字のみ**

4 例

1) 施設情報、連携情報、症例数の入力を完了したら、「登録」ボタンを押してください。

2) 入院症例がなく、0例の場合は「登録」ボタンをクリックし、アンケート回答を終了してください。

3) 入院症例が1例以上ある場合は、「登録」ボタンをクリック後、続けてメニュー【新規症例情報の登録】から症例情報についてご回答ください。

**登録**

### 【新規症例情報の登録画面】

各症例の情報についてお答えください

①年齢 歳

②産科

産科出血  
 羊水塞栓症  
 胎盤心筋症  
 妊娠高血圧症候群  
 HELLP症候群  
 急性妊婦脂肪肝  
 生殖器感染症  
 その他

③産科

胎卒中 (  脳出血  くも膜下出血  脳梗塞  その他 ) ※主なものをも1つ選択してください。  
 肺血栓塞栓症  
 心血管疾患 (  大動脈解離  先天性心疾患 ( )  後天性心疾患 ( ) )  
 感染症  
 敗血症 (  あり  なし )  
感染源 (  脳炎・髄膜炎  肺炎  肝炎  肺炎  胆管炎  胆管炎  腎盂腎炎  その他 ( )  不明 )  
起病機 (  A群溶血性連鎖球菌  その他 ( )  不明 )  
 外傷 (  自殺  事故 )  
 その他

④一般情報

はい  いいえ

7) 入室前の管理上の留意点  
 診断の遅れ→何の診断が遅れていましたか? ( )  
 治療の遅れ→何の治療開始が遅かったですか? ( )  
 高次施設への搬送の遅れ  
 院内産婦人科より救急・集中治療科 (部門) への管理依頼の遅れ  
 その他 ( )

⑤症例を登録した際、アンケートへの質問・ご意見を記載してください

**登録**

### 2回目以降のログインについて

サイトオープン中は何度でも回答内容を修正することができます。

ページ上部のメニュー【施設・連携情報の登録/修正】【新規症例情報の登録】【登録済症例情報の修正】より該当する項目をクリックしてください。

ログインすると前回の登録内容が表示されます。

※記載された内容について、プライバシーポリシーに則り回答者へご連絡させていただく場合がございます。